

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 アネスト岩田株式会社
 コード番号 6381 URL <http://www.anest-iwata.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 壺田 貴弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 鷹野 巧一
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-591-9344

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	23,413	11.3	2,641	0.5	3,202	7.1	2,015	18.2
29年3月期第3四半期	21,040	2.1	2,654	7.7	2,991	6.3	2,464	21.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,571百万円 (87.5%) 29年3月期第3四半期 1,371百万円 (23.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	48.29	
29年3月期第3四半期	59.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	45,358	31,865	62.3
29年3月期	38,895	28,605	68.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 28,248百万円 29年3月期 26,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		9.00		11.00	20.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	6.6	3,900	4.5	4,300	3.9	2,800	17.6	67.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 上海斯可絡圧縮機有限公司、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	41,745,505 株	29年3月期	41,745,505 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	6,659 株	29年3月期	6,557 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	41,738,885 株	29年3月期3Q	41,739,000 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
第3四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
第3四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

①業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、総じて緩やかな回復基調が継続しました。米国では雇用情勢や設備投資が堅調に推移し、欧州及び個人消費に持ち直しが見られる中国や新興国においても景気は拡大基調が続いております。わが国経済も好調な世界経済の影響を受けて企業収益や雇用環境が良好に推移しており、回復基調を維持しております。

そのような経済環境の中で、当社グループは2016年度から3ヶ年にわたる中期経営計画の達成に向けて事業活動に取り組んでおります。

圧縮機製品におきましては、環境への規制強化に向けた世界的な潮流を背景に、電動バスや新交通システムなどの鉄道車両へ搭載する圧縮機の引き合い獲得及び納入が好調に推移しております。医療向け圧縮機システムにつきましてはアジア・新興国を主として展示会への参画による認知度の向上と販売代理店の育成に努めました。またオーストラリアにおける圧縮機サービス事業の伸長や中国でのスクルー圧縮機製造・販売会社の連結子会社化、ヨーロッパにおける生産・販売・サービス体制の強化など、事業拡大へ向けて活動を推進しております。国内におきましても、旺盛な設備投資意欲を背景に、汎用品のみならず高付加価値を有する提案型製品の受注が継続しております。真空機器製品では、前期に国内で上市しましたオイルフリーベーン型ポンプや大容量の複数台搭載モデルの周知活動として、各展示会等への出展や販売チャネルへの説明会等を行っております。塗装機器製品におきましては、前四半期に自動車製造や金属、木工製品製造市場に向けて上市しました大形スプレーガンの新モデルであるWS200型及び国内の自動車補修市場に向けた'kiwamiシリーズの新モデルを拡販すべく、各市場にてトライアル活動を展開しております。塗装機器製品に含まれる液圧機器では、各種機能材や食液塗布用のステンレス製加圧容器や、自動車内装用接着剤塗布専用スプレーガンが各国での製造工程において伸長しました。様々な材料メーカーと共に材料にマッチした機種選定や塗布方法の開発といった活動を行っております。塗装設備製品では、回復傾向の続く中国市場や自動車部品製造市場が堅調な国内に加えて、北米エリアでの受注も始まりました。期末までの着実な納品と検収及び受注活動を並行して進めてまいります。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高23,413百万円(前年同四半期連結累計期間対比11.3%増)、営業利益2,641百万円(同0.5%減)、経常利益3,202百万円(同7.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,015百万円(同18.2%減)となりました。

②セグメントの業績

セグメントの業績については、「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の(セグメント情報等)に記載のため省略しております。

③製品別売上高

(単位：千円)

製品区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		前年同四半期比増減	
	平成28年4月1日～ 平成28年12月31日		平成29年4月1日～ 平成29年12月31日			
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減額	増減率(%)
圧縮機	10,333,648	49.1	11,737,447	50.1	1,403,799	13.6
真空機器	1,253,568	6.0	1,349,937	5.8	96,369	7.7
塗装機器	8,260,728	39.2	8,818,380	37.7	557,652	6.8
塗装設備	1,192,931	5.7	1,507,928	6.4	314,996	26.4
計	21,040,876	100.0	23,413,694	100.0	2,372,817	11.3

(2) 財政状態に関する説明

資産は、流動資産が23,964百万円(前連結会計年度比10.5%増)となりました。これは、主に、中国の圧縮機製造・販売会社を連結子会社化したことにより「原材料及び貯蔵品」や「商品及び製品」、「受取手形及び売掛金」が2,176百万円増加したことによるものです。固定資産は21,393百万円(同24.4%増)となりました。これは、主に建物及び構築物の「有形固定資産」が2,507百万円増加したことや「のれん」の増加等により「無形固定資産」が1,762百万円増加したことによるものです。その結果、総資産は45,358百万円(同16.6%増)となりました。

負債は、流動負債が9,893百万円(同37.0%増)となりました。これは主に、中国の圧縮機製造・販売会社を連結子会社化したことにより「短期借入金」が1,453百万円増加したことなどによるものです。固定負債は、3,599百万円(同17.3%増)となりました。これは設備投資の増強により「その他」に含まれるリース債務が増加したことなどに

よるものです。その結果、負債合計は13,492百万円(同31.1%増)となりました。

純資産は、31,865百万円(同11.4%増)となりました。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は28,248百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の68.7%から6.4ポイント減少し62.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想及び配当予想は、平成29年11月10日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、中・大形スクルー圧縮機を主とした機種拡充と中国を始めとするアジア市場における圧縮機販売拡大のため、中国の圧縮機製造・販売会社である上海斯可絡圧縮機有限公司の出資持分を51%取得し、同社並びにその子会社である上海格什特螺杆科技有限公司を連結子会社化いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はございません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,100,275	8,051,911
受取手形及び売掛金	5,928,211	6,550,668
商品及び製品	3,539,425	4,177,212
仕掛品	565,978	911,463
原材料及び貯蔵品	1,426,875	2,343,333
その他	2,174,768	2,104,324
貸倒引当金	△39,761	△174,367
流動資産合計	21,695,774	23,964,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,324,587	5,184,942
その他(純額)	5,770,296	6,417,480
有形固定資産合計	9,094,883	11,602,423
無形固定資産		
のれん	812,395	1,573,846
その他	1,002,139	2,003,048
無形固定資産合計	1,814,534	3,576,895
投資その他の資産		
投資有価証券	5,343,468	5,321,645
その他	957,428	904,073
貸倒引当金	△10,728	△11,094
投資その他の資産合計	6,290,167	6,214,624
固定資産合計	17,199,586	21,393,943
資産合計	38,895,360	45,358,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,613,083	4,446,917
短期借入金	192,516	1,645,678
未払法人税等	777,695	378,659
賞与引当金	577,900	353,381
その他の引当金	305,080	292,176
その他	1,753,873	2,776,304
流動負債合計	7,220,149	9,893,118
固定負債		
退職給付に係る負債	2,359,918	2,386,533
その他	709,808	1,213,336
固定負債合計	3,069,727	3,599,869
負債合計	10,289,876	13,492,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,324,472	1,324,472
利益剰余金	21,374,203	22,513,050
自己株式	△5,277	△5,387
株主資本合計	26,047,751	27,186,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	707,129	1,039,760
為替換算調整勘定	222,079	278,952
退職給付に係る調整累計額	△258,189	△256,747
その他の包括利益累計額合計	671,019	1,061,965
非支配株主持分	1,886,713	3,617,050
純資産合計	28,605,483	31,865,503
負債純資産合計	38,895,360	45,358,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,040,876	23,413,694
売上原価	11,692,257	13,021,089
売上総利益	9,348,619	10,392,604
販売費及び一般管理費	6,693,931	7,750,691
営業利益	2,654,688	2,641,913
営業外収益		
受取利息及び配当金	94,583	97,938
持分法による投資利益	132,391	157,180
為替差益	—	243,866
その他	155,890	103,172
営業外収益合計	382,865	602,157
営業外費用		
支払利息	7,935	14,792
為替差損	20,760	—
その他	17,756	26,801
営業外費用合計	46,452	41,594
経常利益	2,991,101	3,202,476
特別利益		
固定資産売却益	1,495	1,511
段階取得に係る差益	450,328	—
その他	39,731	—
特別利益合計	491,554	1,511
特別損失		
固定資産除売却損	3,654	13,157
解体撤去費用	539	29,249
子会社整理損	—	97,592
特別損失合計	4,194	139,998
税金等調整前四半期純利益	3,478,462	3,063,989
法人税、住民税及び事業税	773,442	846,681
法人税等調整額	153,909	88,730
法人税等合計	927,351	935,411
四半期純利益	2,551,110	2,128,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	86,224	113,213
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,464,885	2,015,363

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,551,110	2,128,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	328,126	332,630
為替換算調整勘定	△1,154,479	145,420
退職給付に係る調整額	△3,466	1,441
持分法適用会社に対する持分相当額	△350,162	△36,552
その他の包括利益合計	△1,179,983	442,940
四半期包括利益	1,371,127	2,571,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,506,761	2,406,310
非支配株主に係る四半期包括利益	△135,633	165,207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,642,960	2,438,557	3,479,407	18,560,925	2,479,951	21,040,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,985,264	198,696	831,292	4,015,252	221,246	4,236,499
計	15,628,224	2,637,253	4,310,700	22,576,178	2,701,197	25,277,376
セグメント利益	2,743,965	294,726	261,931	3,300,623	221,782	3,522,406

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,300,623
「その他」の区分の利益	221,782
セグメント間取引消去	△28,443
全社費用(注)	△839,274
四半期連結損益計算書の営業利益	2,654,688

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,612,299	2,812,556	4,659,310	20,084,166	3,329,528	23,413,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,560,293	191,271	989,032	4,740,597	111,556	4,852,153
計	16,172,593	3,003,828	5,648,342	24,824,763	3,441,084	28,265,848
セグメント利益	2,773,638	220,187	455,049	3,448,875	190,608	3,639,484

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,448,875
「その他」の区分の利益	190,608
セグメント間取引消去	△116,230
全社費用(注)	△881,340
四半期連結損益計算書の営業利益	2,641,913

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。